

「Restoration with Hybrid Resin for Esthetic Dentistry」

東京都技工士会

日技認定講師 沖本 祐真

光重合型歯冠用硬質レジン(ハイブリットタイプ)は、白歯部対応修復材料としての理工学的特性を備えつつ、築盛作業性、研磨性、自費材料として使用する上で、豊富なエナメル色、特殊色等、さまざまな要素が求められる材料の一つである。

今回、材料特性、使用方法、歯科色彩論を背景とした築盛方法を、昨今ブームとなりつつ有るピンクエステティック(歯肉色再現)に対応する概念、補綴物作成時の光学的理論を考慮した、フロアブルコンポジットレジンの応用と、立体的表現のステインワーク(限られたスペース→エナメル色ペースト築盛スペース内での配色法)を交えた築盛、材料特性を生かした効率的な研磨方法を提案する。

最近需要が増えつつある、インプラント、デンチャーの GUM カラーリングと、そのために必要なフレーム構造とデザイン、CAD/CAM マテリアルも合わせて紹介する。